

平成 28 年度事業報告

1. 普及啓発事業

(1) 機関誌発行事業

- ・機関誌「エネルギーと動力」を2回発行（春季号、秋季号）し、当協会会員、国会図書館等に配布するとともに、当協会ホームページに掲載した。
- ・企画審議のための編集委員会を2回（6月8日、12月6日）開催した。

2. 世界エネルギー会議（WEC）事業

(1) WEC イスタンブール大会

①イスタンブール大会への参加

- ・10月9日から13日まで、世界エネルギー会議の第23回大会がトルコのイスタンブールにおいて開催された。
- ・参加者は世界150か国、5,500名に上ったが、トルコに対する治安への懸念から日本からの参加者は10余名にとどまった。
- ・講演は50セッションあり、270名が登壇し、日本からも3名が登壇した。
- ・論文セッションは、全体で36か国134件が採択され、うち20件が賞金を受賞（日本2件）し、76件が会場において発表された。
- ・展示については、88のエネルギー関連企業・団体が製品・技術を紹介した。
- ・本大会のテーマである「新たな地平を目指して～エネルギーの未来と革新～」のもと、日毎にそれぞれ「将来のビジョンとシナリオ」、「ビジネスチャンスの見極め：エネルギー資源と関連技術」、「エネルギー・トリレンマ：繁栄確保のための解決政策」、「アフリカにおける持続可能な将来のエネルギー確保」といったテーマに沿って、セッションが行われた。また、急遽設定された大統領による特別講演において、ロシア（プーチン）、トルコ（エルドアン）、ベネズエラ（マドゥロ）、アゼルバイジャン（アリエフ）の4か国の大統領他が登壇した。
- ・大会に先立ち、エネルギーの大転換時代において、7つの新たな現実を直視し、エネルギー・トリレンマ原則の下、世界規模での対応と注意深いマネージメントに基づく政策・経済協力に不断の努力を傾ける必要があるとするイスタンブール宣言が採択された。

②イスタンブール大会報告会の開催

- ・日本から参加したセッション登壇者他から直接報告していただく機会として、大会報告会を下記により開催した。

日 時： 12月2日（金） 14時～17時

場 所： 日本工業倶楽部 大会堂

参加者数： 約60名

<プログラム>

（敬称略）

開会挨拶 日本動力協会 会長

榊本 晃章

大会プログラム紹介 日本動力協会 事務局長

野田 篤志

- 報告 1 パネルセッション登壇報告 (3セッション)
「アジアにおける地域連系」
「世界の天然ガスおよび LNG 市場動向」
「CEO・ラウンドテーブル」
東京ガス 常勤顧問 村木 茂
- 報告 2 パネルセッション登壇報告
「原子力の現状と将来」
東京電力ホールディングス 常務執行役 増田 尚宏
- 報告 3 聴講報告
「COP21 後の石炭の将来」(石炭ワークショップ)
「東地中海の新たな動き～イスラエル沖のガス田開発」(パネルセッション)
日本動力協会 参与 村田 肇
- 報告 4 概要報告
大会宣言・2060年シナリオ・論文・展示・FELP
日本動力協会 専務理事 田中 秀昭
- 報告 5 総括報告
大会の概観・各セッションにおける議論の焦点等
日本動力協会 会長 榎本 晃章

(2) WEC 年間事業活動への参画

① 執行理事会(WEC Executive Assembly)への参加

- ・10月9日、トルコのイスタンブールで開催され、協会から4名、他2名が出席した。
- ・主要議題は、常設委員会報告、決算・予算の承認、会長の交代、並びに常設委員会メンバーの承認と WEC オフィサーの選任等であった。
- ・復帰も含めて、マレーシア、モンゴル、シンガポール、カメルーンの4か国がメンバーに加入したことが紹介された。
- ・2018年の執行理事会開催地として、イタリア(ミラノ)が単独立候補し、承認された。

② WEC アジア地域会議への参加

- ・10月8日、トルコのイスタンブールで開催され、村木アジア地域副会長ならびに協会から4名が出席した。
- ・主な議題は、日本からの新たなスタディ「アジア地域における温室効果ガス排出量低減のための好事例調査」の提案や、インドからのアジア地域における共通課題の整理についての提案であり前者は承認され、後者は、次回以降議論を進めることとされた。

(3) WEC 委員会への参加

① スタディ委員会 (Studies Committee)

- ・10月8日、トルコのイスタンブールで開催され、村木アジア地域副会長と委員である当協会の野田事務局長、その他協会から3名が出席した。

- ・主要議題は、3大調査研究であるエネルギーシナリオ、エネルギー資源、エネルギートリレンマにレジリエンスを加えたスタディ委員会に属する4つのスタディグループとエネルギー効率についてのナレッジ・ネットワークの活動報告等であった。
- ・日本が提案した新たなスタディ「アジア地域における温室効果ガス排出量低減のための好事例調査」の実施が承認された。

②プログラム委員会(Programme Committee)

- ・10月8日、トルコのイスタンブールで開催され、委員である関西電力の武智国際部長および協会から4名が出席した。
- ・議題は、世界の電力会社の活動状況(GEI)とエネルギーに関する国際的な枠組み(GEF)というプログラム委員会に属するスタディグループや、発電プラントの運転実績(PGP)や再生可能エネルギーの系統連系(RSI)等のナレッジ・ネットワーク、そしてFEL(Future Energy Leaders)の活動報告等であった。

③ファイナンス委員会(Finance Committee)

- ・10月9日、トルコのイスタンブールで開催され、委員である東京ガスの村木常勤顧問が参加した。

④日本が参画しているワークプログラム

日本からは、以下のグループ等に委員として参画した。

<スタディグループ>

○世界のエネルギー トリレンマ(World Energy Trilemma)

- ・6月、米国サンフランシスコで開催された第7回クリーン・エネルギー閣僚会議で2016年報告を公表・出版した。10月には、「2016 エネルギー・トリレンマ・インデックス」を公表・出版した。
- ・日本から、当協会の村田参与が委員に就任している。

○世界のエネルギーシナリオ(World Energy Scenarios)

- ・10月、2060年に向けた3つの異なるシナリオからなる「世界のエネルギーシナリオ 2016」を公表・出版した。
- ・日本から、ガスター 品質保証本部長の田中 崇氏およびコージェネレーション・エネルギー高度利用センター 普及促進部長の福島 亮氏が委員に就任している。

○世界のエネルギー資源 (World Energy Resources)

- ・10月、3年ごとの調査を取りまとめた「世界のエネルギー資源 2016」を公表・出版した。今後は、毎年3~5つの章を順次見直ししていく方式に変更することとした。
- ・日本からは、当協会の野田事務局長が委員に就任している。

○エネルギーインフラの強靱化に向けた投資 (Financing Resilient Energy Infrastructure)

- ・①エネルギー／水／食糧、②異常気象、③サイバー攻撃の3つのリスクについて、その頻度と影響を推定するとともに、対応方策および投資促進策について取りまとめを実施し、9月に、レポートを公表・出版した。
- ・日本から、日本政策投資銀行 英国法人の加藤 隆宏氏が委員に就任している。

<ナレッジ・ネットワーク>

○エネルギー効率向上のための政策と指標 (Energy Efficiency Policies & Indicators)

- ・11月、国連によるCOP22のサイドイベントにおいて、新たなレポートを発表・出版した。
- ・日本から、アジア太平洋エネルギー研究センター 研究部長の入江 一友氏が委員に就任している。

○再生可能エネルギーの系統連系 (Renewable Energy Sources Systems Integration)

- ・再生可能エネルギーを連系する場合の系統への影響度合いを検証・評価し、その悪影響を最小化する施策を検討するために設立された。
- ・9月、「変動する再生可能エネルギーの電力系統への連系 2016」と題するレポートを発表・出版した。
- ・日本から、日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・電力エリート研究員の永富 悠氏が委員に就任している。

○E-モビリティ (E-Mobility)

- ・6月、「E-モビリティ：排出量ギャップを埋める」と題するレポートを発表・出版した。
- ・日本からは、本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員の酒井 伊知郎氏が委員に就任している。

(4) その他 WEC 関係活動

①海外への情報発信

- ・WECの定期刊行物に記事を投稿し、日本のエネルギー事情等を世界に発信した。

<World Energy Inside>各国 WEC 国内委員会向けのニュースレター

5月号：「熊本地震に見舞われるも、川内原子力は運転継続」

1月号：「イスタンブール大会報告会」

3. 会員サービス事業

(1) 会員講演会およびパワートークの開催

<会員講演会>

① 開催日：6月21日

講師：(一財)日本エネルギー経済研究所 常務理事 田中 浩一郎氏

演題：「中東の地政学リスクを考える～紛争、テロ、財政、継承等の視点～」

<パワートーク>

① 第19回

開催日：5月27日

講師：(一社)海外電力調査会 調査部門調査第一部長 松岡 豊人氏

東京電力ホールディング(株) 北京事務所副所長 伊藤 公宏氏

演題：「進展する中国の電力システム～侮れない中国の底力～」

② 第20回

開催日：8月26日

講師：(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

スマートコミュニティ部統括研究員

諸住 哲氏

演題：「畜エネルギー技術等分散リソースの現状と新たなビジネスモデル」

③ 第21回

開催日：2月16日

講師：(公財)地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長 山地 憲治氏

演題：「極寒の中で、日本のこれからのエネルギーを再考する」

(2) 定期刊行物の発行、配布

- ・当協会およびWECの活動状況に関する情報を提供するため、「ニュースレター」を6回(隔月)発行し、当協会会員への配布およびホームページへの掲載を実施した。

4. その他

(1) 会議の開催

- ・総会 1回(6月21日)
- ・理事会 3回(5月24日、9月26日、3月14日)
- ・運営評議員会 1回(3月14日)

(2) 各種委員会の開催

- ・技術委員会(委員長：松橋 隆治 東京大学大学院教授)を3回(7月29日、12月14日、3月8日)開催した。

(3) 移行法人としての内閣府への書類提出

- ・公益目的支出計画実施報告書の提出を6月21日に行った(審査完了)。

以上